

## 2009年版 体操競技男子採点規則 主な変更点 (2008年11月現在)

2008年11月20日

日本体操協会審判委員会  
体操競技男子部

平成20年11月上旬に行われました全日本選手権(新潟県上越市)、中旬に行われました豊田国際競技会(愛知県豊田市)をもちまして、国内で2006年版採点規則を適用する大会は終了いたしました。国際体操連盟(FIG)では、すでに公式ホームページにて2009年版採点規則を公開しました。日本体操協会審判委員会体操競技男子部では、国内版採点規則の作成準備に入りましたが、現時点での主な変更点、追加事項、削除事項を下記のようにまとめました。正式には12月上旬に開催されるFIG大陸間講習を経て、1月上旬に開催する1種審判員研修会にて詳細を通達します。下記内容におきましてもFIG大陸間講習で修正されることも考慮して冬期トレーニングに活用していただきたいと存じます。

来る2011年世界選手権東京大会、2012年五輪ロンドン大会に向けてすばらしいスタートとなるよう期待いたします。

### ○一般条項

(追加)

- ・器具の準備として、ゆかに炭酸マグネシウムで印を付ける、器具の表面や一部を損なう等の行為を禁止する。これらは器具関連の違反として扱い0.5の減点とする

(変更)

- ・A審判・A得点、B審判・B得点をそれぞれD審判・D得点、E審判・E得点へ変更
- ・チームの減点：-0.8 → チーム得点から-1.0
- ・落下減点：-0.8 → -1.0

### ○ゆ か

(追加)

- ・同じ対角線は、直接連続して最大2回まで使用することができる(例A-C, C-A)3回目以降は構成上の欠点である
- ・同じ対角線を2回以上使用する=-0.3

(変更)

- ・D以上の宙返りを含むすべての組み合わせに0.1を付与する。さらに双方がD以上の場合は0.2とする。これらの組み合わせは片側だけに与えられる

(難度表)

- ・追加：I-09・10（脚上挙・マンナから伸腕屈身力倒立）に「開脚でも」を追加
- ・追加：I-106（開脚旋回倒立後方にとびながら倒立ひねり開脚旋回）＝D難度
- ・追加：I-139（支持から開脚入れ背面支持）＝A難度
- ・変更：III-06（後方かかえ込み2回宙返り3回ひねり）＝G難度
- ・変更：III-12（後方かかえ込み3回宙返り）＝G難度

○あん馬

(難度表)

- ・変更：IV-46（下向き360°転向3/3移動(ロス)）＝D難度

○つり輪

(追加)

- ・振動から力静止技に続く技のうち逆方向のものは（たとえば「前振り上がり中水平」「前振り上がり十字倒立」など）2つの技とみなす
- ・グループIIIまたはIVの技を直接4つを越えて続けることはできない。5つ目以降はD審判によって難度は認定されない

(変更)

- ・組合せ加点の項目が削除

(難度表)

- ・削除：III-04（前振り上がり屈身十字倒立）
- ・削除：III-05（前振り上がり伸身十字倒立）
- ・削除：III-16（リーニン十字倒立）
- ・削除：III-17（前振り上がり、リーニン中水平）
- ・削除：III-41（ホンマ十字倒立）
- ・削除：III-42（ホンマ中水平）
- ・削除：III-53（け上がり中水平）
- ・削除：III-70（け上がり屈身十字倒立）
- ・削除：III-71（け上がり伸身十字倒立）
- ・変更：III-09（前振り脚上挙）B難度→C難度
- ・変更：III-51（け上がり脚上挙）B難度→C難度
- ・変更：IV-19（脚上挙支持）A難度→B難度
- ・変更：V-29（後方伸身宙返り3回ひねり下り）D難度→E難度
- ・変更：V-41（後方2回宙返り2回ひねり下り）D難度→E難度

- ・追加：Ⅲ-06（前振り上がり上向き中水平）＝F 難度
- ・追加：Ⅳ-17（上向き中水平から伸腕伸身で引き上げて十字倒立）＝E 難度
- ・追加：Ⅳ-23（上向き中水平から伸腕伸身で引き上げて中水平）＝E 難度
- ・追加：Ⅳ-53（懸垂から引き上げて中水平）＝E 難度
- ・追加：Ⅳ-59（懸垂から引き上げて十字倒立）＝E 難度
- ・追加：Ⅴ-04（前方屈身または伸身宙返り 2 回ひねり下り）＝D 難度
- ・追加：Ⅴ-40（後方 2 回宙返り 3/2 ひねり下り）＝D 難度

## ○跳馬

(削除)

- ・6 項 グループⅢの技の着手時の手のずらしについての規定を削除

(難度表)

- ・追加：Ⅲ-41（屈身ドラグレスク）＝7.2

## ○平行棒

(追加)

- ・3 項 b) 宙返りを伴う技：一演技中に同じ種類の技は一度しか使用してはならない。2 つめ以降は出現順に繰り返しと見なす。

例：かかえ込みモリスエと屈身モリスエ、

かかえ込みベーレと屈身ベーレ、

前方開脚 5/4 宙返り腕支持と屈腕支持等

- ・45 条・減点表 「公式ウォームアップ時間を順守しない (50 秒)」の項目の右、個人総合では D 1 審判が決定点から -0.3、または団体戦ではチーム得点から -1.0

(変更)

- ・45 条・減点表 「3 回以上の停止」項目削除
- ・43 条 5 項 a) 故意の静止は、認定されるためには 2 秒止めなければならない
- ・43 条 5 項 c) 車輪ひねり、後ろ振り上がりひねり、前振り上がり 1 回ひねり、棒下宙返りひねり系等の技は余分な支持が発生した時点で終了したものと見なす

(難度表)

- ・削除：Ⅰ-67（「後ろ振り倒立」削除、Ⅰ-01 へ統合）
- ・削除：Ⅰ-81（単棒倒立から（1 回 or 5/4）ひねり倒立）削除
- ・変更：Ⅰ-14（支持前振り開脚抜き倒立）C 難度→B 難度
- ・変更：Ⅰ-19（支持前振り開脚抜き支持）B 難度→A 難度
- ・変更：Ⅱ-02（前振り上がり開脚抜き倒立）C 難度→B 難度

- ・変更：Ⅱ-44（後ろ振り上がり開脚入れ（または閉脚転向）伸腕支持）
- ・変更：Ⅲ-40（懸垂前振り後方かかえ込み2回宙返り腕支持(バーレ)） E 難度→D 難度
- ・変更：Ⅲ-41（屈身バーレ） F 難度→E 難度
- ・変更：Ⅲ-56（け上がり開脚抜き倒立（両棒または単棒）） C 難度→B 難度
- ・変更：Ⅳ-34（正面横向き立ちから遠い方の棒を握り逆上がり 1/4 ひねり倒立）  
C 難度→D 難度
- ・変更：Ⅳ-40（正面横向き立ちから遠い方の棒を握り後方開脚浮腰回転単棒横向き倒立）  
グループⅢのC 難度→グループⅣのD 難度
- ・追加：Ⅱ-43（後ろ振り上がり開脚入れ（または閉脚転向）屈腕支持） A 難度
- ・追加：Ⅳ-15（棒下振り出し開脚抜き倒立（アリカン）） C 難度
- ・追加：Ⅳ-23（棒下宙返り単棒倒立（2秒）（チアリオ）） E 難度
- ・追加：Ⅴ-33（棒端、懸垂前振り後方屈身2回宙返り下り） C 難度

## ○鉄 棒

(削除)

- ・48条3k) 項 simple grip change についての規定文を削除

(難度表)

- ・削除：Ⅳ-13（大逆手振り上がり順手持ち換え倒立）
- ・削除：Ⅳ-20（大逆手振り上がり、逆手持ち換え or ひねり順手 or とびひねり、倒立）
- ・変更：Ⅱ-18（伸身トカチェフ 1/1 ひねり（リュウキン）） E 難度→F 難度
- ・変更：Ⅱ-59（屈身ゲイロード） D 難度→E 難度
- ・変更：Ⅱ-78（バーを越えてギンガーひねり懸垂（ピネダ）） F 難度→G 難度
- ・変更：Ⅱ-96（コバチ 3/2 ひねり片逆手懸垂(シャハム)） F 難度→G 難度
- ・変更：Ⅳ-05（アドラー1/1 ひねり逆手倒立） = E 難度
- ・変更：Ⅳ-16（アドラー1/1 ひねり片逆手倒立） E 難度→D 難度
- ・追加：Ⅱ-17（伸身トカチェフ 1/2 ひねり片大逆手懸垂後ろ振り上がり倒立） = E 難度
- ・追加：Ⅱ-60（屈身ペガン） = F 難度

以上